

医療法人田中会
介護老人保健施設おおつかの郷 大津陣内メディケアセンター 地域交流誌

Clover

クローバー通信

Take free

40

2023年 5月発行



Model : (左)副施設長 本池 晋、(右)施設長 田中 素美

Clover クローバー通信

CONTENTS

02 巻頭言

『大津メディケアセンター・おおつかの郷に勤務して10年、
認知症ご高齢者を振り返って』副施設長 本池 晋

03 Pick up! Topics

Topic1 「令和5年 看取り部屋改修を行いました」

Topic2 「老健入所で脳体カトレーナー CogEvo (コグエボ)の認知機能トレーニングを開始」

Topic3 「リラックスプログラム」

Topic4 「10年に1度の『御神幸祭』」

05 部署紹介

vol.1 リハビリテーション部

06 クローバー広場

- ・資格取得報告
- ・新入職員紹介
- ・季節の行事食

本誌に掲載している職員の写真は感染対策を徹底し、
撮影時のみマスクやフェイスシールド、ゴーグルなどはずして
撮影したものです。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

発行年月 2023年5月
制 作 おおつかの郷
施 設 長 田中 素美

言 頭 卷

大津メデイケアセンター・おおつかの郷に勤務して10年、 認知症ご高齢者を振り返って

文・副施設長 本池 晋

最近、私にも年金関連の郵便物が多く来るようになりました。そういう年齢になった、と実感します。その郵便物の職歴を見ると、ここ大津メデイケアセンター、おおつかの郷にお世話になって10年が経過しているのがわかりました。10年間で老健に入所される方もますます高齢化してこられた印象です。100歳を迎えられた方も多く、寝たきりはおられず頭もよく回る方々です。90代後半も普通になりました。80代は若い方だと思えます。各種統計によると、数年前には65歳以上の高齢者人口は日本の総人口の約30%を占め、その中で認知症の方は20%を占め、5人の高齢者が集まると1人は認知症があると言われます。認知症は普通の病気になりました。

認知症が身近になり、身内、自分自身も認知症を発症することも十分考えられる状況なので、今までのような患者と医療者/介護者の関係、医療/介護を受ける側とする側の関係では認知症の方の生活環境にそぐわなくなってきたのではないのでしょうか。医療/介護に携わる者は「その人中心」の視点を取り入れるために謙虚に対応すべきでしょう。

認知症の診断の一つに使われる検査、長谷川式認知症スケール(以下EDS-C)を開発した長谷川和夫先生は自身がアルツハイマー型認知症になったことを2018年に表明されました。その頃からでしょうか、認知症になっていて当事者の立場の一般書籍が増えてきたように思います。

そこで、認知症の方の側からの書籍を紹介させて頂きます。最初の1冊は長谷川和夫先生の「ボクはやっと認知症のことがわかった」です。前出のEDS-Cを開発した認知症の専門家です。自身の認知

症症状・老化症状を専門家の目でも評価してあります。当施設でも日常生活の中で単に高齢になることで転倒事故は発生しますが、長谷川先生自身も誘因なく転倒することが増加したようです。自身の衰えとこれからの心構えが見えるようです。

2冊目は「私が学んできた認知症ケアは間違っていました」。認知症専門医が今まで行ってきた診察や患者との会話の中で、認知症患者・家族の立場に立って反省したエピソードを含めて教えて頂けます。認知症の方との日常の接し方の参考になります。

最後になります、3冊目は「認知症世界の歩き方」。認知症患者の訴えを聞きながら、認知症の方に見える世界をマンガも含めて解説します。「問題行動」、認知症の方にはどう見えて感じてそのような行動をするのか、理由を理解することで皆が心地よく過ごせるヒントがあるのです。



Pick up! Topics

Topics.1

令和5年 看取り部屋改修を行いました

介護老人保健施設である当施設は「在宅復帰」を目指す施設ではあります。高齢化や病状の進行などで入所中に「看取り」となる方も年間10名前後いらっしゃいます。

今回、さらに入所者様やご家族様が安らかに、穏やかに過ごしていただけるように、「熊本県介護基盤緊急整備特別対策事業補助金」を活用し、看取り部屋のリフォームを行いました。室内の壁紙や床面の変更、照明や空調設備の



看取り部屋



ACP会議の様子

変更、休んだままでもご家族の写真や好きな景色・音楽を楽しめるプロジェクターの設置、アロマオイルにてリラック스가出来るようにディフューザーの配備など、スタッフで話し合いながら完成しました。

チーム(多職種)で取り組むことです。医師・看護師・相談員・介護福祉士・リハビリスタッフ・管理栄養士で2回/月、集まりカンファレンスを行っています。今後も人生の最終段階を穏やかに過ごしていただくためにハード面だけでなく、ケアの質も高めていけるように努力してまいります。【理学療法士 終末期ケア専門士 山下翔平】

Topics.2

老健入所で脳体力トレーナー「CogEvo」の 認知機能トレーニングを開始 コグエボ

2022年1月から通所リハビリテーションで導入している脳体力トレーナー「CogEvo (コグエボ)」を使用し、認知機能別トレーニングを、入所にも取り入れました。

「CogEvo」はタブレットを使い、ゲーム感覚で楽しみながら5つの認知機能(計画力・記憶力・空間認識力・注意力・見当識)をトレーニングするICTツールです。日々の認知機能の結果が記録でき、そのバランスや変化をグラフ等で確認することが出来ます。

入所では①生活の中での認知機能のチェックを行い、ケアの中に反映させること、②コミュニケーションツールとしてQOL向上を目指すことを目的として活用しています。具体的には、個々で異なる認知機能の低下部分を、集中し



てトレーニングするほか、結果データを基に、日常生活の中でカレンダーの設置や薬管理を工夫するなど、在宅復帰に向けた環境調整を行っています。

個別に関わることで、認知力を把握するだけでなく、その人の内面、その日の変化に気づくなど、新しい発見も増え、ケアの質の向上や有意義な時間の確保にも繋がっています。

も実証を重ね、研鑽を積んでいます。「CogEvo」のデータ等を含め科学的根拠に基づきながら、その人にとって必要なケアをより具体的に見出し、より安心して生活できるケアの提供に力を入れていきたいと思えます。【療養棟 介護部主任 荒木 裕喜】
※ICT：通信技術を活用したコミュニケーションのこと。

Topics.3

リラックスポログラム

当施設では、ご利用者様のQOL向上や日常生活の活性化を目的に、多彩なアクティビティ活動に取り組みます。今回はその中の一つ、『リラックスプログラム』をご紹介します。五感へのアプローチを組み合わせた空間で過ごすこのプログラムは、リラクゼーションの促進、ストレス緩和などの心理的回復の効果が期待されます。

一般的に施設生活は、物理的・心理的にも閉鎖的になる傾向があります。そのため、当施設では施設内生活においても、季節の移りかわりや、人との関わりによって温もりが感じられる体験を大切にしています。特に言語的コミュニケーションが難しい重度認知症の方を対象に実施しています。【音楽療法士・公認心理師 立山真由美】



視覚(デジタル映像)

季節の景色や懐かしい映像がプロジェクターに投影されます。



触覚

アロマオイルを使ったハンドマッサージや足浴を実施。



味覚

時には、新茶やゆず茶などの季節の飲み物を味わうことも。



聴覚(音・音楽)

鳥のさえずりや川のせせらぎ等の自然音から、音楽療法士が場の雰囲気や参加者の呼吸にあわせ、即興でピアノを奏でることも。



嗅覚(アロマ)

リラックス効果や気分を上げる作用のある香りを参加者や季節、時間帯に合わせてセレクト。アロマ検定1級をもつ理学療法士が担当。

Topics.4

10年に1度の『御神幸祭』

ごしんこうさい

2023年3月19日 日曜日、当施設がある大津町陣内地区で、御幸祭(窪田阿蘇神社御神幸祭)が開催されました。10年に1度開催されるこのお祭りは、大津町の無形民俗文化財に指定されています。快晴の当日、当施設の前を神幸行列が通るということで、おおつか

の郷、ケアガーデン陣内、グループホーム陣内の入所者・入居者の皆様と沿道へ、見学にできました。地元では、御幸(みゆき)祭りと呼ばれ親しまれており、賑やかな行列を見たご利用者様からは、「10年前も見た」「若い時、三味線持ってたよ」などのお話が聞かれ、参列している

ご家族と対面された方もおられました。地域文化や伝承芸能に触れ、地域とのつながりを感じるひと時でした。【音楽療法士・公認心理師 立山真由美】





わたしたちの部署を紹介します！

部署紹介



Vol.1 リハビリテーション部

現場で働く職員の取り組みをご紹介します。



当施設には理学療法士3名、作業療法士2名、言語聴覚士1名が常勤しています。スタッフの人数こそ多くはありませんが、平均15年のキャリアを持ち、総合病院や心療内科など様々な場所で勤めていたスタッフが揃っています。少数精鋭です！入所リハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリで「在宅復帰」「在宅療養」をリハビリチームで支援します。

リハビリチームが
住み慣れた生活を
支援します！



個別性の高い訓練プログラムを担当スタッフと設定し提供しています。開放感のある空間で筋力向上に効果のあるパワーリハビリ機器訓練機器を使った運動を提供します。

集中的な
リハビリテーション
(入所後3ヶ月間)

若手スタッフの育成に取り組んでおり、武蔵ヶ丘病院より2名のリハビリスタッフを期間限定の研修として受け入れ、お互いに刺激し高め合っています。
介護保険制度の勉強、生活リハビリと退院後の生活を見たことで「自宅で暮らすために必要なリハビリ」を学べたようです。

医療法人田中会の 取り組み

定期的な評価を行い、個別の認知機能に合わせたプログラムを提供しています。中でも、タブレットを使用した『COGEVO』の活用、サイネージ動画を使用した楽しく出来るコグニサイズなど、利用者様に還元できる新しい物を取り入れています！

認知症予防 リハビリテーション

ご利用のご相談
お待ちしております！

理学療法士
都田 流平



おおつかの郷で
リハビリをして
楽しく元気な生活を送ってみませんか？

理学療法士
中島 未季



クローバー広場

新入職員や季節の美味しい食事メニューなど、最新のとおきの情報をお届けします。

資格取得報告



介護部
介護福祉士
平山 綾香
(ひらやま あやか)

資格支援制度を利用し、介護福祉士国家資格を取得すると決めて約1年間、趣味を我慢して勉強に取り組みました。働きながらの勉強は想像以上に大変でしたが、周りの皆様のサポートがあり、安心して勉強に取り組みました。今回、無事に資格を取得できたのも皆様の支えがあったからこそと思っています。今度は私が皆様のサポート出来る様、これまで以上に頑張りたいと思います。

新入職員紹介



介護部
介護福祉士
大平 絵里
(おおひら えり)

ずっと介護の仕事をしておりましたが、老健に勤めるのは初めてなので先輩方から教えていただく事一つひとつが日々勉強になっております。早く仕事に慣れ、皆様のお力になれるよう頑張りたいと思います。



療養部
看護師
榎原 咲希
(ならはら さき)

4月に武蔵ヶ丘病院より異動してまいりました。老健での勤務は初めてなので分からないことも多く、日々勉強させていただいています。

介護・医療など多方面から利用者様のアクセスメントを行い、身体的なケアだけでなく精神的なケアや、ご本人・ご家族様の希望に応じた在宅復帰を支援できる看護師を目指していきます。



リハビリテーション部
言語聴覚士 (ST)
池田 健吾
(いけだ けんご)

4月に武蔵ヶ丘病院より異動してまいりました。大津町が大好きで、忘れられずに戻ってきました(5年前まで大津町で15年間病院に勤務していました)。

STは「時々むせ込む」「言葉がでない」「耳が遠い」など喉、口、耳の専門家としてリハビリを行うことができます。お困り事がありましたら、お気軽にご相談ください。

季節の行事食

当施設では、季節ごとの行事に合わせて特別なお食事をご用意しています。今回は、今年の1月～3月にご提供した行事食をご紹介します。



2月 おやつバイキング



2月 節分



1月 元旦



3月 お花見弁当



3月 ひなまつり



医業を通じて、人に、社会に、貢献する。

医療法人田中会

介護老人保健施設
おおつかの郷
〒869-1221 菊池郡大津町陣内1165
Tel.096-294-1500 Fax.096-294-0478



**大津陣内
メディケアセンター**
〒869-1221 菊池郡大津町陣内1167-5
Tel.096-294-5400 Fax.096-294-4155



令和 医療法人田中会
くまもと令和クリニック
KUMAMOTO REIWA CLINIC
〒860-0803 熊本市中央区新市街7-17
Tel.096-354-0055 Fax.096-354-0077

医療法人 田中会
武蔵ヶ丘病院
〒861-8003 熊本市北区楠7-15-1
Tel.096-339-1161 Fax.096-339-4717

SINKA メディカルフィットネス
GYM シンカジム
MEDICAL FITNESS
〒860-0803 熊本市中央区新市街7-17 4F
Tel.096-328-3200 Fax.096-354-0077

熊本市高齢者支援センター
ささえりあ武蔵塚
〒861-8001 熊本市北区武蔵ヶ丘 1-9-1-1F
Tel.096-339-8130 Fax.096-339-8191